

Influenza at the human-animal interface

動物由来インフルエンザ情報

2013年8月29日現在の概要と評価

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_29Aug13.pdf

1 鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスによるヒトの感染症

2003年から2013年8月29日までに、ヒトの鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染症で、15カ国から公式に637人の検査確定症例が WHO に報告されました。そのうち378人が死亡しています。

2013年7月4日の更新以降では、新たに4人のヒトのインフルエンザ A (H5N1) 型ウイルス感染の検査確定症例(1人が死亡)が、カンボジアから WHO に報告されました。

すべての症例は散发例で、地域社会での流行の証拠はありません。

カンボジアでは、A(H5N1)ウイルスは広域に家禽間で循環しているため、更なる散发症例や小さな流行が今後も予測されています。

表1 鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染によるヒトの検査確定症例(2013年7月4日~8月29日)

発生国	発生地	年齢	性別	発症日	入院日	治療開始日	死亡日	接触歴
カンボジア	Prey Veng	3歳	男性	08/07/2013	09/07/2013	03/07/2013	不詳	村で病気で死んだ家禽
"	Battambang	9歳	男性	26/07/2013	02/08/2013	18/08/2013	18/08/2013	村で病気で死んだ家禽 (ニワトリとアヒル)
"	Kandal	5歳	女性	01/08/2013	09/08/2013	10/08/2013	不詳	村で死んだ家禽
"	Kandal	6歳	男性	21/07/2013	不詳	不詳	不詳	病気の家禽との接触

鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスの公衆衛生上のリスク評価

インフルエンザウイルスは絶えず家禽類を循環しており、家庭で飼育している感染家禽や汚染環境に接触したヒトに、散发感染や小規模の集団発生が起こる可能性があります。しかし、現在、この H5N1 ウイルスは簡単にはヒトに感染しないので、このウイルスが地域社会に拡散するリスクは低い状態です。

2 季節性以外のインフルエンザウイルスによるヒトの感染

A (H7N9) 鳥インフルエンザ

中国は、今年7月4日以降、鳥インフルエンザ A (H7N9) ウイルスによる2人のヒトの症例を報告しています。1人目は河北省の61歳の女性で、7月10日に発症しました。2人目は広東省の51歳の女性で、7月27日に発症しました。8月16日現在、インフルエンザ A (H7N9) 感染による135人のヒトの症例(44人の死亡を含む)が、WHO に報告されました。ほとんどの症例に肺炎がありました。

大多数のヒトの A(H7N9) 症例で、家禽あるいは生きた動物の市場での暴露が報告されています。動物での主なウイルスのリザーバー(保菌動物)、拡散や分布についての知見は限られています。更なるヒトの症例報告が家禽でのウイルスの継続的な循環と連動していると想定すると、特に北半球の秋季近くでは、更なるヒトの症例と動物での感染が報告される可能性があります。

4つの小規模の家族での集団発生が以前に報告されましたが、このウイルスの持続したヒト-ヒト感染を立証する根拠はありません。

Number of Confirmed Human H5N1 Cases
by month of onset as of 2013-08-26

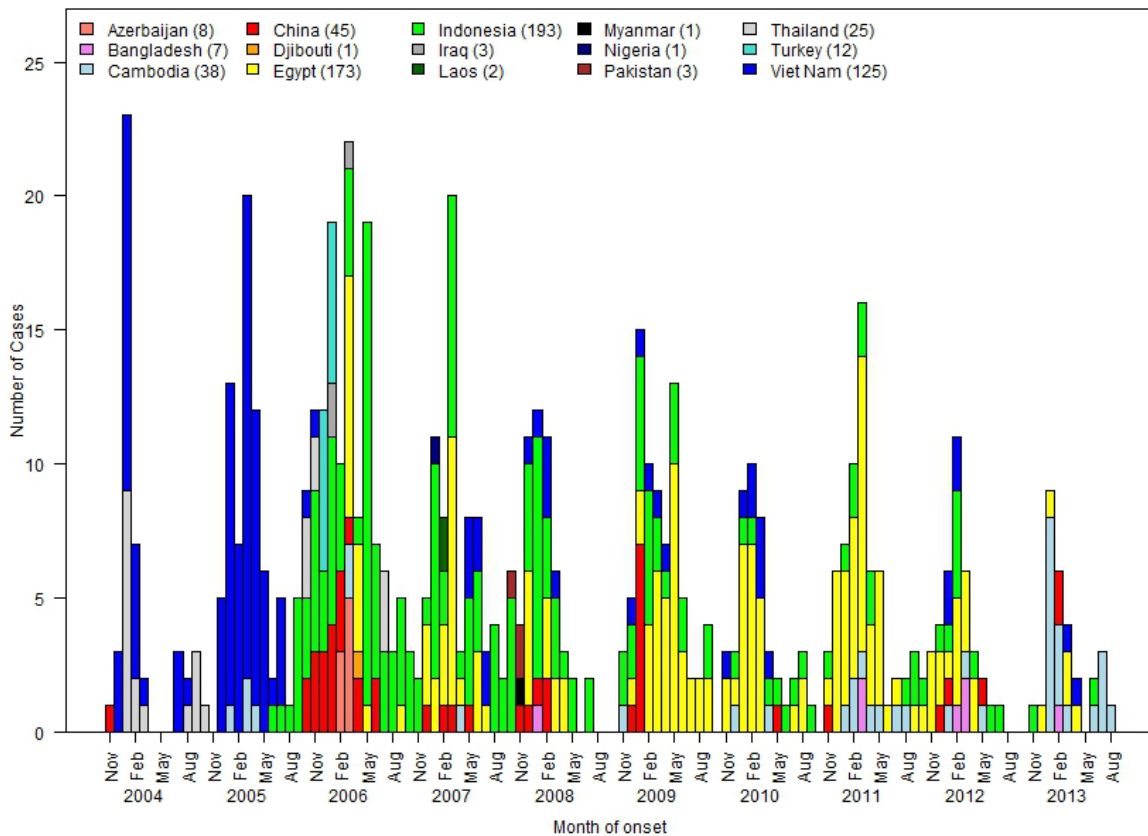
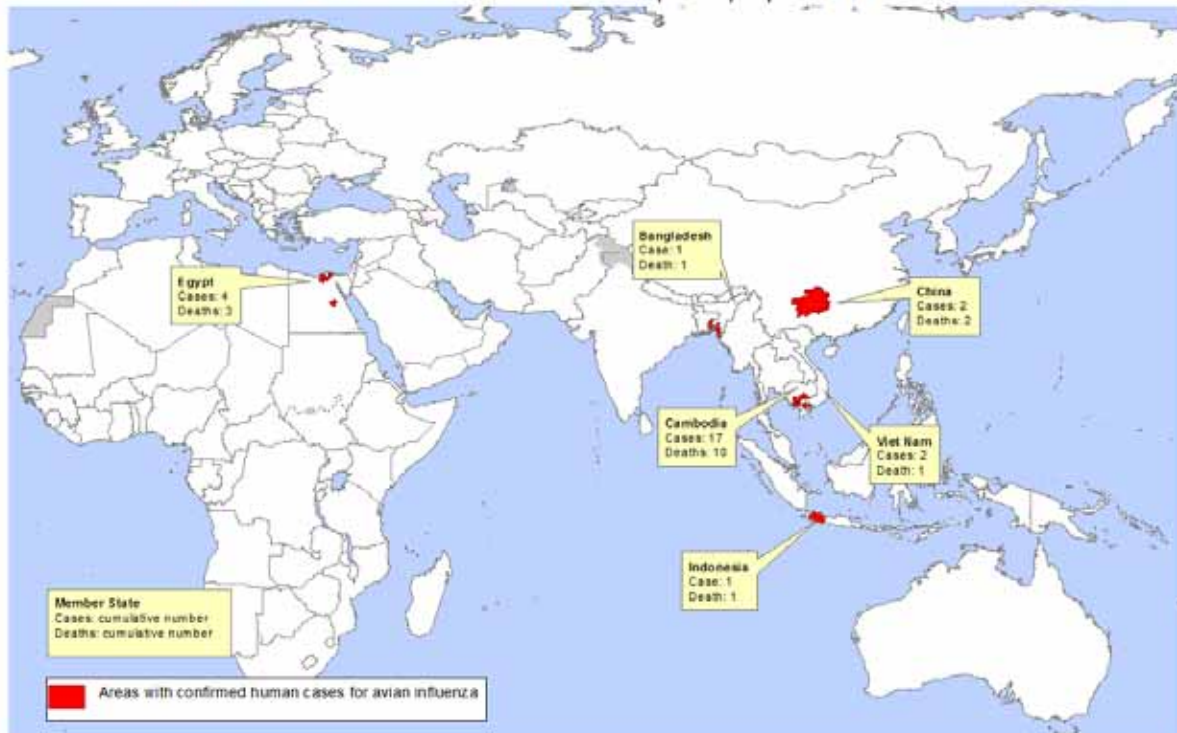


図1 国別・発症月別ヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の流行曲線

Areas with confirmed human cases for avian influenza A(H5N1) reported to WHO, 2013- to-date*.



*All dates refer to onset of illness
Data as of 29 August 2013
Source: WHO/GIP

The information reported and the presentation of the material in this publication do not necessarily represent the opinion of any organization or the position of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or its authorities, or concerning the delimitation of its borders or its area. It is published by the World Health Organization as a service to its members.



図2 2013年のヒトのA(H5N1) 鳥インフルエンザの確定症例発生地

鳥インフルエンザA (H7N9) ウイルスに対する全体的な公衆衛生上のリスク評価

中国で以前に流行があった地域、隣接した地域や国で、また潜在的にこれらの地域から他の国に帰る旅行者で、ヒトの散発症例や小規模な集団発生が起こる可能性があります。

動物やヒトでの感染を探知するためには、感染地域や近隣地域において継続した警戒が必要です。WHOは、国々に対し、サーベイランスとその他の準備の実施（適切な検査能力の確保を含む）を継続するよう依頼しています。鳥インフルエンザA (H7N9) のような季節性インフルエンザウイルス以外のすべてのヒト感染は、世界保健規則(IHR、2005)に則ってWHOに報告されます。

鳥インフルエンザに関係した指針と同様に最新の技術情報は以下で入手することができます。
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

3 ヒトでのインフルエンザA(H3N2)変異型ウイルスによる感染

米国は、今年、インフルエンザA型 (H3N2) ウイルス変異型 (variant ; (v)) による16人 (イリノイ州で1人、インディアナ州で14人およびオハイオ州で1人) のヒトの感染症例を報告しました。そのうち1人が入院しましたが、死者は発生しませんでした。すべての症例で発症する前の週にブタとの濃厚接触を報告しましたが、持続したヒト-ヒト感染は確認されませんでした。

限られた血清学的研究ですが、成人にはこのウイルスに対して若干の既存の免疫があるかもしれないことを示しています。子供にはありません。成人も子供にも、インフルエンザA型 (H3N2) v に対する予防効果は、季節性ワクチンにはありません。A (H3N2) v に対して特異的な3種のワクチン候補ウイルスが米国で開発され、必要な時に (H3N2) v ワクチンを生産するために用いられます。

インフルエンザA(H3N2)変異ウイルスに対する全体的な公衆衛生上のリスク評価

このウイルスが米国のブタ集団を循環していることや農業祭の時期であるため、更なるヒトの症例と小規模の集団発生が起こる可能性があります。

どのような変化も探知するため、継続的なウイルスの性状確認を含めて状況の綿密な監視が必要です。

潜在的公衆衛生上の脅威である高病原性鳥インフルエンザによる動物での発生事例

総体的に、動物のインフルエンザ発生の公式な報告は、予測される季節レベルにあります。通常、北半球での夏季の初旬には、鳥類のインフルエンザの発生報告数は減少します。中国での鳥インフルエンザA (H7N9) ウイルスとこのウイルスによるヒトの感染症の出現のために、中国、中国近隣の国々および世界的にも、ヒトと動物の両方において種々の亜型の鳥インフルエンザについてのサーベイランスが強化されています。他のインフルエンザの亜型や再集合体の変化のある感染症の特定や報告と同様に、ヒトや動物における多くのインフルエンザA (H5) 型やA (H7) 型の事例が探知・報告されることが予測されます。ヒトで報告される大部分の感染症は臨床的に軽症でかつ散発的で、全体的な公衆衛生上のリスク評価を変えていません。しかし、これらの事例が適切な経路を通じて報告されること、また、公衆衛生上の影響を及ぼす可能性のある変異を探知するため、適切な動物またはヒト衛生のインフルエンザ・レファレンス検査施設においてウイルスが収集され、十分な特徴づけが行われることが重要です。

インフルエンザウイルスは常に進化する性質があるため、WHOは動物とヒトにおけるインフルエンザウイルスについて世界的な監視の重要性を強調し続けており、平常時のインフルエンザサーベイランスを強化することをすべての加盟国に勧奨しています。季節性以外のインフルエンザウイルスによるすべてのヒトの感染症は、世界保健規則(2005) に則ってWHOに報告されます。

平成 25 年 9 月 3 日

滋賀県衛生科学センター 健康危機管理情報センター 仮訳